

# 立命館経済學

第二十五卷 第五・六号

昭和五十二年二月

木村静雄教授退任記念論文集

## 内 容

木村静雄教授の退任記念論文集を發行するにあたって	戸木田嘉久	1
<b>論 説</b>		
人づくりこそ企業づくりである	足立政男	3
現代社会政策論の視座と対象	三好正巳	35
Harrod の長期不安定性について	北野正一	65
1840年代後半におけるマルクスの 経済学研究の特徴について	津島陽子	86
<b>研 究</b>		
戦後日本資本主義の生産力構造と公共投資	東郷久	133
日本資本主義の発展とシャープ勧告	藤岡純一	155
1920年代における造船大企業の蓄積構造(上)	清水憲一	179
<b>研究ノート</b>		
わが国における公式国民所得統計の 発展の沿革に関する年表	後藤文治	226
<b>資 料</b>		
志布志湾漁業経済分析資料(その一)	杉野 圀明	239
立命館在職30年をふりかえって	木村静雄	291
木村静雄教授 略歴・主要著作目録		297
共同研究室		301

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十五卷・第二・三号

論 説

銀行信用・利子生み

資本の論理的前提……………小 牧 聖 徳

社会主義経済管理における民主主義の原理

とその展開の構造について……………小 野 一 郎

産業資本主義段階における

近代的独占の存在形態(一)……………若 林 洋 夫

研 究

「完全雇用」保障計画と

公共職業訓練……………三 富 紀 敬

シャウプ勧告と

戦後日本の資本蓄積……………藤 岡 純 一

研究ノート

最近のソ連学界における

「経済的社会構成体」の研究……………小 檜 山 政 克

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十五卷・第四号

論 説

「高度成長」と社会「安定」装置……………三 好 正 巳

ヒルファディングの『金融資本論』の

背景と金融資本概念について……………田 中 宏 道

研 究

「高度成長」期における

農山村の変容……………木 村 一 夫

資本集中と過剰資本の累積……………山 本 幹 夫

資 料

日本資本主義確立期の

資本の存在形態(一)……………後 藤 靖

紹 介

『最近の西ドイツ、フランス、アメリカの

自主管理運動について……………津 島 陽 子

書 評

小野一郎、篠原三郎編

『社会主義的所有と管理』……………長 砂 實

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会